

平成27年度第1回渋川市総合教育会議 議事録

I 開催日時

平成27年5月19日（火）午後2時55分開会 午後3時47分閉会

II 開催場所

渋川市役所本庁舎3階大会議室

III 出席者

【構成員】阿久津貞司市長、土田猛教育委員長、太田大森教育委員長職務代理者、池田由美子教育委員、高橋秀和教育委員、後藤晃教育長

【事務局】佐久間総務部長、田中企画部長、立見保健福祉部長、田中学校教育部長、天田生涯学習部長、橋爪教育総務課長、名塚学校教育課長、綿貫学校給食課長、石田生涯学習課長、田中体育課長、小林文化財保護課長、笹原企画課長、ほか担当職員5名

【傍聴者】12名

IV 会議の概要

1 開 会

笹原企画課長	それでは、定刻前ではございますが、みなさんお揃いでございますので、ただいまから第1回渋川市総合教育会議を開催いたします。はじめに阿久津市長からごあいさつを申し上げます。
--------	--

2 市長あいさつ

阿久津市長	<p>みなさんこんにちは。本日、平成27年度第1回 渋川市総合教育会議の開催にあたりまして、ひとこと、ごあいさつ申し上げます。</p> <p>この「総合教育会議」は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会の相互の連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図ることを目的とした「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日に施行されたことに伴い、設置されたものです。</p> <p>今回の法律の施行により、この「総合教育会議」の設置、新たに市として教育、学術、文化の総合的な振興を図るための指針となる「大綱」の策定など教育委員会制度の改正だけでなく、これまで以上に、市長と教育委員会の連携が求められていることが特徴となっております。</p> <p>本市においては、「渋川市総合計画」を基に、本市の将来を担う子どもたちが安全、安心に学べる教育環境の整備、豊かな自然環境、伝統文化を活かした生涯学習の振興、スポーツを核とした地域振興などを進めて参りました。今後もこうした政策、施策を中心に、教育、学術、文化そしてスポーツの振興をより推進して参りますが、その際には今回設置の「渋川市総合教育会議」を十分活用することで、市の教育行政を推進するための中心である教育委員のみなさんのご意見をしっかりと伺うとともに、真摯な協議、調整をご期待申し上げます。</p> <p>この「総合教育会議」は年間数回の開催を予定しておりますので、是非、実り多い会議となりますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
-------	---

笹原企画課長	つづきまして、教育委員長にごあいさつをお願いします。
--------	----------------------------

3 教育委員長あいさつ

土田教育委員長	みなさんこんにちは。本日は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月から施行されたことに伴い設置されました「渋川市総合教育会議」の第1回目の会議ということで、教育委員会を代表し、ひとことごあいさつ申し上げます。本市においては、これまで、「渋川市総合計画」を基本に、学校・家庭・地域の連携のもと、教育環境を取り巻く、今日的な課題に対応してきました。主な対応としましては、幼児教育・学校教育では「学校・家庭・地域三者連携協議会」の基、各地域の特色を生かした活動を展開しております。また、学校施設の耐震化による義務教育施設の計画的な整備をはじめ、安心して安全な給食を供給するため、南部並びに北部学校給食共同調理場が稼働しております。また、これからの将来を担う青少年を健全に育成するため、青少年センターを中心とした地域と一体的に活動をしてきております。生涯学習活動については「地域の教育力を高める学習活動」の推進に取り組み、公民館などを核とし、地域の特色ある活動を支援してきております。また、本市内には貴重な文化財が数多く存在し、そうしたものを保護する活動を地域ぐるみで行うなど、伝統文化の継承に取り組んできております。また、「一市民一スポーツ」を目標に、市民誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの拡大に努めているところでございます。こうした、今日的な課題については、これまで市長部局と連携、協力しつつも、教育委員会に与えられた責務として取り組んできました。しかしながら、今回の教育委員会制度の大きな改正により、本日開催の「総合教育会議」を活用することで、これまで以上に市長部局との連携により今日的課題に対応することができるようになりましたことについては、教育委員会としても喜ぶべきことと思っておりますし、積極的な取り組みを進める機会とも考えております。こうしたことから、渋川市の教育行政全般を更に発展させられるよう、この「総合教育会議」をみなさんで十分活用するよう、お願い申し上げ、教育委員会を代表してのあいさつに代えさせていただきます。本日は、よろしくお願い申し上げます。
---------	---

4 教育委員の紹介

笹原企画課長	続きまして、出席者名簿に基づき、名簿順に自己紹介をお願いいたします。 －出席者自己紹介－
--------	---

5 報告事項

(1) 渋川市総合教育会議設置要綱について

笹原課長	それでは、報告事項に入らせていただきます。 このあとの進行につきましては、市長をお願いいたします。
阿久津市長	それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。 報告第1号について事務局の説明をお願いいたします。
田中企画部長	設置要綱について、配布資料に基づき説明。

6 議題

(1) (仮称) 渋川市教育振興大綱策定方針について

阿久津市長	つづいて、議題に入らせていただきます。
-------	---------------------

事務局の説明をお願いします。

田中企画部長

配布資料に基づき説明

- ・大綱策定は、教育基本法に基づき策定される国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされていることから、本市においても、実情に応じた教育、学術、文化並びにその振興に関連する施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、その目標や施策の根本となる方針を定めるため、新たに「(仮称) 渋川市教育振興大綱」を策定すること。
- ・渋川市総合計画や渋川市教育行政方針等の関係個別計画との継続性、連続性、大綱の実効性の確保を大綱策定の方針とすること。
- ・今回策定する大綱は、平成27年度から29年度までを期間とすること。
- ・大綱策定にあたっては、策定委員会を設置し、策定作業を行うほか、適宜、総合教育会議における説明、協議等を行うこと。

阿久津市長

渋川市教育振興大綱策定にあたりまして、私から考え方を outs させていた だきたい。私自身、渋川の子供たちは市民の宝であると市民のみなさん に申し上げております。その中で心身ともに健康で、立派な社会人にな ってほしいというのが基本でございまして、その中でいくつか考え方を 述べさせていただきます。

最初に、家族を大切にし、渋川を愛するひとになっていただきたい。こ れは、市民憲章にも「家族の和を大切に思いやりの心を広げます」とあ るように家族を大事にすることを目指していただきましたというものです。

2番目は、心と体を鍛え、健康づくりを行うことです。健康づくりは人 づくりの基本でありまして、市は3年前からスポーツ活性化構想に取り 組んでいます。群馬大学から学生・研究生に来てもらい小中学生の体力 向上に市としても協力させてもらっています。

子供たちの心と体、心身をともに健康にすることが、将来、社会人にな ったときの基本となるので、子供たちの健康づくりを行うことについて しっかり取り組んでいきたいと考えています。

3番目には、時代の変化に対応するたくましいひとになっていただきたい ということです。これは、多様で不透明な時代を生き抜く人材を育て るということでありまして、大変時代が変化しています。このような中、 子供たちが社会で生き抜いて、立派な社会人として活躍していただきたい という考えであります。

4番目は、他人の傷みをわかる思いやりとやさしさに満ちたひとになっ ていただきたいということです。いじめの問題などがありますので、人 の痛みがわかる人になっていただきたいものであります。

5番目は、市は安全安心な食と住みよいまち、安全な食材の提供と防犯・ 防災のさらなる推進などを進めています。先ほど委員長からお話のあつ た、耐震補強事業が平成27年度で終了します。また、各学校施設の整 備についても一つ一つ順次行っていきます。また、選別農薬農法による、 安全・安心な地元食材の取り組みなどを通じまして、食育の推進を目指 していききたいと考えております。

これは、南北の調理場(学校給食)が出来上がって1年経過しようとし ています。これは安全な食材を子供たちに提供していききたいということ です。

今一番心配しているのは、今年の5月2日の上毛新聞では、発達障害相談件数3546件、認知が進み7年で3倍になったと報道がありました。その中で発達障害はということかと言うと、脳に機能障害がある子供たちということだそうです。自閉症やアスペルガー症候群、周囲欠陥多動症、学習障害などだそうです。

渋川の選別農薬の取り組みは、この発達障害に対する安全な野菜ということで取り組んでおります。上毛新聞では、発達障害に対応する専門家はいないとのことですが、私としてはこの専門家を招へいして学校教育と連携しながら、このような子供たちの支援ができないものかということです。難しことではありますが、日本中を探していけばいると思っています。渋川市で生まれた子供たちを、しっかり育てていきたいと思えます。

6番目は、あいさつで心が通うまちということです。あいさつができる子供たちに育っていただきたい。さまざまな地域コミュニティの発展にもつながると思っています。

以上が私の考えではありますが、先ほどの事務局の説明も含めてご意見をお願いいたします。

高橋委員

2点ほど、お話を伺って心身の健康、これは大変大切だと思います。心が折れてしまったり、沈んでいると体が元気でも、学校へも通えません。体だけでなく心の面も含めて是非大綱に加えていただきたいです。特別支援の関係ですが、市長の言うとおりでと思います。ニーズの多様化、また、保護者の方も勉強されているので、専門の方をとの話がありましたが、大綱の中に含めていただいて、きめ細かい対応をしていただければと思います。

後藤教育長

市長のお考えを伺って、教育あるいは、子供の健全育成に対する深い思いを感じました。その中で、家庭を大切にすることは、教育の基本であると思っています。家族の和と愛情にあふれる家庭においては、子供の情緒も安定していて、学校における学習活動においても安心して取り組むことが出来るのではないかと考えています。

全国学力学習状況調査の結果でも、家庭内の家族の会話が多い家庭のお子さんの学力は比較的高いと言われております。いい影響があるのではと思っています。

引用ではありますが、幕末の吉田松陰が獄中から妹にあてた手紙の中で、家庭教育の重要性を指摘しております。「親族をむつまじくすることは、子供を育てる上で大切なこと」あるいは、「およそ人の子の賢きも愚かなるも良しも悪しきも、父母の教えによることなり」と。家庭と地域と学校の三者で連携すべきと思いますが、基本は家庭にあると思っています。また、心と体を鍛えるとのことですが、学齢期におけるスポーツ等の振興については、健康寿命の延伸にもつながり、この時期に基礎的体力を整えることが生涯にわたり健康な体を維持することにつながると思います。併せて礼儀作法を学ばせる機会にもなり、健全育成にもつながると思います。

次に、時代に対応したたくましい人とのことですが、日本の若者は諸外国と比べて自己肯定感を持たない者の比率が高い傾向にあると言われております。グローバル社会の中で国際感覚を身につけ、厳しい社会を生き抜く、国家社会の形成者としての資質をそなえた人材の育成が求められています。併せて、子供たちには地域の諸行事の参加を促して、自己肯

定感を養い、また、文化の伝承にもつながると思います。
それから、教育大綱の視点ですが、国の教育振興計画あるいは、市の総合計画の視点があげられたが、併せて国の教育基本法の考え方、市民憲章も視点にあげられればと考えていますので、よろしくお願ひします。

阿久津市長 ほかにいらっしゃいますか。

土田委員長 先ほどの発達障害の子供の話がありましたが、私の知っている小学生で車いすの子がいて、周りの子供たちはケアをし運動会にも参加しており、心が和む思いでありました。ただ、発達障害の子が通常学級で活動するといった場合、保護者の方がうちの子は、となると思うので保護者のケアも必要になると思います。発達障害者の子たちを少しでも通常学級で活動してもらいたいということは、私も大賛成です。思いやりと優しさに満ちたとのことにリンクすると思いますので、お話を聞いて、対策を考えていこうかなと思った次第です。

阿久津市長 発達障害の子供は、学校の先生だけでなく家族の協力がないと難しと聞いています。専門家のアドバイスを聞き、家庭と学校と子供たち、周りの人たちの協力いただきながら、小中学校で対応できるよう努力していきたいと思っています。

太田委員 市長の視点はすばらしいと思います。また、教育長の地域の諸行事への参加については、大賛成です。子供たちは学校教育と社会教育が両立して、すばらしい子供ができると思っています。自分は県青少年会館に勤務していますが、社会教育に参加している子供たちは違うと実感しています。社会教育に是非子供たちを積極的に参加させるような手当を大綱に盛り込んでいただければと思います。渋川市の生涯学習活動事業は、すごいと感じているので、是非こうしたことを活かすようにと思っています。

阿久津市長 ほかにいらっしゃいますか。

池田委員 国の第二次教育振興計画の中に、生きる力の確実な育成、課題探求能力の修得等があるのですが、これらが市長のお話の中で時代の変化に対応するたくましい人の育成を考えたいとのことにリンクすると思いますが、生きる力や課題探求能力は、学校教育だけでは足りないのかなとも思います。生涯学習に通用するような内容のものを大綱に入れていただければと思います。

阿久津市長 学校教育だけではなく、生涯学習に参加して、地域の郷土芸能などに年配の方と一緒にあって、先輩方の姿をみて育っていただければ、健全に成長すると思っています。

NHKドラマ花燃ゆでは、吉田松陰の教え子が日本を動かしていく姿をみて、教育のすごさを感じています。渋川市は、温泉はある、農業や工業もあり条件の恵まれた地域であり、そこで育った子供たちが、どこに行っても活躍できるよう育てられれば良いと思っています。
今まで、教育行政に口を出さないようにしていたが、先ほど申し上げたことが一つ一つ大綱の中に盛り込まれ、子供たちにいい影響を与えられればと思います。

高橋委員	みなさんはどうでしょうか。 大綱策定は、今回初めて作るものなので、作ってみて、取り組んでみて、また、その次にということにつながっていくと思います。 是非、市長のお話に沿って進めていただいて、今日の会議が全部終わりではないようですので。
阿久津市長	この会議も何回かあります。途中で見ていただいたり、修正したりしますので、先ほどのあいさつでも申し上げましたが、年数回会議を予定しておりますので、よろしくお願いします。 ご意見のほうは、以上でよろしいでしょうか。
委員一同	はい。

(2) 小中学校再編統合について

阿久津市長	それではつづきまして、議案第2号について議題とします。 事務局の説明を求めます。
田中学校教育部長	配布資料に基づき説明・・・省略(非公開)
阿久津市長	事務局から説明がありました。この件について何かございますか。 この予定で進めさせていただきますので、よろしいでしょうか。
委員一同	「異議なし」の声
阿久津市長	ありがとうございます。以上で議題は終了しました。 この際ですから、委員さんから何かありますか。
委員一同	「なし」の声
阿久津市長	ないようでありますので、以上をもちまして、本日の報告、協議の各事項等については、全て終了いたしました。これで議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
笹原企画課長	以上をもちまして、平成27年度第1回渋川市総合教育会議を閉会とさせていただきます。 長時間に渡り、熱心にご審議いただき、ありがとうございました。